

ニッキン 投信情報

運用会社情報

SCSKと事業提携

JAMP

日本資産運用基盤グループ（JAMP）は10月2日、システムインテグレーターであるSCSKとの事業提携（9月30日付）を公表した。資産運用アドバイスに対する需要がこれまで以上に高まる中、金融商品取引事業分野における両社の知見やソリューションを連携し、今後成長が見込まれるIFA（独立系金融アドバイザー）等の金融商品・サービス仲介事業者に対して、CRM（顧客管理システム）や資産管理分析システム等を中心としたシステムソリューションを提供する事業支援プラットフォーム運営に取り組む。21年春をめどに、米国のTAMP（Turnkey Asset Management Platform）事業者とのパートナーシップを通じ、既存ツールを日本向けに改修し、サービス提供を予定している。

JAMPは、19年7月にみずほ信託銀と提携し総合支援型ファンドアドミサービスを提供、同年10月には金融機関向けシステム開発等を行っているエー・ソリューションズと業務提携し内蔵型投資一任スキームの運営を開始。さらに、20年4月にはQUICKとの業務提携により、委託金融機関向けに提案・アフターフォロー支援ソリューションの提供を行っている。今後も、資産運用業界の事業支援プラットフォームとして様々なサービスを提供し、金融事業者の課題解決に努めていく。